

第1回定例会

## 令和2年度当初予算を可決

一般会計予算規模 過去最高2,771億円



鶴丸城御楼門

### ～目次～

令和2年第1回定例会の概要、議決された主要議案の要旨	1面
代表質疑から	2～4面
個人質疑から	5・6面
令和2年度主な新規事業	6面
議会からのお知らせ	6・7面
委員会から	7面
常任委員会の名称等がかわりました!	7面
議案等に対する各党派等の表決態度	8面

編集・発行 / 鹿児島市議会

☎099-224-1111(市役所代表)

☎099-216-1454(政務調査課直通)

<鹿児島市議会ホームページアドレス>

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/gikai/index.html>



令和2年第1回定例会は、2月10日から3月18日までの38日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和2年度一般会計・特別会計・企業会計の当初予算(総額4825億8700万円)をはじめとする予算に関する議案25件、条例その他の議案34件、計59件の議案を議決しました。

【議決された主要議案の要旨】

#### ▼令和元年度鹿児島市一般会計補正予算(第5号)

◎主な内容

- ・校舎・屋体等整備事業(小・中学校)
- ・ICT環境整備事業

#### ▼鹿児島市動物の愛護及び管理に関する条例制定の件

- ・動物の愛護及び管理に関する法律の規定に基づき、動物の飼養および保管、動物愛護管理員等に関し必要な事項を定めるもの

#### ▼鹿児島市立いしき園設置条例廃止の件

- ・救護施設および養護老人ホームの経営を社会福祉法人に移行することに伴い、市立いしき園を廃止するもの

#### ▼土地の無償貸付けの件

- ・喜入町の土地を株式会社鹿児島プロスポーツプロジェクトに無償で貸し付けるについて、議会の議決を求めるもの

#### ▼鹿児島市中央卸売市場業務条例一部改正の件

- ・卸売市場法の一部改正に伴い、卸売業務の許可等に係る規定を新設するとともに、売買取引等に係る規定を整備するもの

#### ▼鹿児島市事務分掌条例一部改正の件

- ・児童福祉や子育て支援のさらなる推進を図り、児童相談所の設置に向けて整備体制を強化するなど子どもと家庭に対する施策を総合的に推進するため、こども未来局を新設し、その事務分掌を定めるとともに、関係条例の整理をするもの

#### ▼令和2年度鹿児島市一般会計予算

- ・6面の「令和2年度主要新規事業」をご覧ください。

#### ▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件

- ・平松なぎさ氏・横瀬博文氏

#### ▼鹿児島市議会委員会名称等がかわりました!

- ・7面の「常任委員会の名称等がかわりました!」をご覧ください。



# 代表質疑から

第1回定例会では、8会派が代表質疑を行いました。その中から一部を紹介します。



本会議の様子は、インターネットで録画を放映していますので、ぜひご覧ください。  
(アクセス方法)  
市議会トップページ  
→ インターネット議会中継録画



## 公明党

しらが郁代議員

### 幼児教育・保育の無償化への市長の思い

**問** 令和元年10月に開始された幼児教育・保育の無償化について、2年度に臨む思いは。

**答** 2年度の組織整備において、幼児教育および保育施策の推進体制を強化し、各施策に専門的かつ的確に対応を行うことにより、「子育てをするなら鹿児島市」のさらなる充実に向けて、取り組んでいく。

### 本市域の公共交通

**問** 地域公共交通について、今後、地域住民・行政・事業者等が一つになった新たな取り組みが必要であると考えますが、地域等を巻き込んだ他都市の取り組み事例は。

**答** 地域住民が主体となって交通手段を確保する事例としては、熊本市や八王子市などで、町内会等が自治体からの補助を受けながら、乗合タクシー等を主体的に運行する取り組みがある。

### 火山防災トップシテイ構想の推進

**問** 桜島火山防災研究所設置検討事業の概要は。

**答** 同事業は、火山防災を専門的に研究する組織の設置について、庁内検討委員会での検討や外部有識者からの意見聴取のほか、他都市の事例調査を行うものである。同研究所は、火山防災トップシ

テイ構想を推進するため、火山に関する専門的知見を有するとともに、大規模噴火でも犠牲者ゼロを目指す防災対策の調査研究をはじめ、火山防災教育の推進や、本市の火山防災対策の情報発信などを担っていくものと考えている。

### 市営合葬墓の整備

**問** お墓に対する市民意識が多様化していることから、合葬墓の整備を要望してきたが、合葬墓整備を決定した背景および市民から寄せられている声は何か。また、今後の整備スケジュールは。

**答** 近年の核家族化の進行に伴う継承者問題などが背景にあり、市民の声としては、「墓の継承者がいない」「経済的な理由により墓が持てない」などがある。令和2年度に整備にかかる基本方針を作成し、3年度に実施設計施工を行い、4年度早期の供用開始を予定している。

### ベンチャー型事業承継推進事業

**問** ベンチャー型事業承継推進事業の目的、概要は。

**答** 同事業は、中小企業者の事業承継を推進し、地域経済の活性化を図ることを目的に、業態転換、新市場参入など、新たな領域に挑戦するベンチャー型事業承継の啓発を目的としたセミナーや参加型の講習会等を開催するとともに、M&Aプラットフォームの運営企業と連携し、インターネットを活用した事業承継の紹介や相談対応等を行うものである。

### コミュニティ・スクール

**問** コミュニティ・スクールの概要は。また、学校運営協議会の目的、概要、効果、今後のスケジュールは。

**答** 同スクールは、育てたい子ども像、目指すべき教育のビジョン等の実現に向け、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持ち、学校運営に参画する学校運営協議会制度を導入した学校である。同協議会は「地域とともにある学校づくり」の推進のため、学校の基本方針の承認や学校運営に関して協議することで、学校運営が充実していくもので、令和2年度から6校ずつ設置し、5年度から市立高校を含む全校に設置予定である。

## 社民・市民フォーラム

平山タカヒサ議員

### 政治の信頼性に対する市長の見解

**問** 「桜を見る会」前夜祭での国会対応など、安倍政権により政治への信頼性が損なわれていることに対する見解は。

**答** 政治家や公職にある者は、政治と行政への国民の信頼を確保する責務があると考えている。

### 公文書の性別記載欄見直しと同性パートナーシップ制度の導入

**問** 公文書の性別記載欄見直しの背景と、そのことを通じて本市はどのような社会を目指すのか。また、九州・沖縄の県都のうち、パートナーシップ制度を導入している都市名とその特徴は。さらに、本市でも導入を検討していくべきと考えるが、見解は。

**答** 性的少数者の方々への理解や配慮を求める動きが広がっていることから見直したものである。性的少数者に対する差別や偏見をなくし、性的少数者が安心して暮らせる社会を目指していきたい。また、パートナーシップ制度は、福岡市、長崎市、熊本市、宮崎市、那覇市が要綱に基づき導入しており、福岡市と熊本市では、令和元年10月30日に相互利用を開始している。同制度導入については、引き続き調査・研究を行いたい。

### 鹿児島マラソン中止と参加費の取り扱い

**問** 全国各地で新型コロナウイルスの影響によりイベント等の中止が相次ぐ中、本市でも令和2年3月1日に開催予定の鹿児島マラソンが中止となったが、何を根拠に中止という判断に至ったのか。また、参加費の考え方は。

**答** 国が大規模イベントの開催時期の見直し等に言及したことや、開催に慎重な判断を求める市民、参加者等の声が多く寄せられたこと、同規模の大会の中止が相次いだことなどを総合的に勘案し、参加ランナーやボランティア、沿道で応援する市民の方々の安心・安全を最優先するため、中止とした。中止に伴う参加料は、準備に相当の経費がかかっていることや、募集要項に規定があることから、返金は行わないこととした。なお、参加予定だったランナーにはTシャツ等を送り、次回大会に優先枠を設けることとした。

### 保育士宿舎借り上げ支援事業

**問** 保育士の宿舎を借り上げるための経費の一部を補助する保育士宿舎借り上げ支援事業を通して、どのような効果を期待しているか。また、補助対象者数を100人と見込んだ根拠は。

**答** 保育士の経済的な負担が軽減され、職場定着や離職防止につながるほか、人材が確保されることで保育所等における入所児童の拡大が図られるものと考えている。また、平成31年4月1日時点で利用定員まで受け入れができなかった保育所等に対して、必要な保育士の数を調査し、回答のあった27施設の保育士数を参考にした。

### 教職員の働き方改革

**問** 法改正により、教員の時間外勤務の上限が月45時間・年360時間となったが、そのことを明記すべきでは。また、始業前の登校指導や終業後の地域の会合出席等は時間外勤務となるかなど、具体的線引きは明確になっているか。PTAや町内会等関係団体へはどのように周知するのか。

**答** 時間外の上限は規則で定め、上限時間まで業務を行うことを推奨する趣旨でないことは周知に努めたい。また、校務として校外で行う職務は在職等時間に合算するものと考えており、学校へは管理職研修会等で、関係団体へは市PTA連合会や地域コミュニティ協議会会長連絡会等で周知に努めた。

## 自民みらい

井上 剛議員

**同性婚および同性パートナーシップ制度への慎重な対応**

**問**

同性婚および同性パートナーシップ制度については、国会等での十分な議論を見極め、国民・市民の一体感を維持しながら、市民の深い理解の下、制度のありようを検討するなど慎重な対応をすべきだと考えるが、市長の認識は。

**答**

同性婚については、現行法において、婚姻は異性の当事者間によるものと解されているが、パートナーシップ制度については、多様なパートナーの在り方を地方自治体が認める取り組みとして、九州県都においても導入の事例があることから、同制度の調査・研究を行うよう担当部局に指示してきている。性的少数者の方々が日常生活のさまざまな場面においても安心して暮らせるよう、理解促進や相談・支援等の取り組みを推進し、全ての人の人権が尊重される社会の実現に努めていきたい。

**認知症対策のケア技法の一つであるユマニチュードの導入支援**

ユマニチュードの概要は。

「正面から話しかける」「優しく、ゆっくりと触れる」など、認知症の方に効果的なコミュニケーション方法を用いることにより、安心してケアを受け入れてもらう技法とされている。

**本市内の施設等でのユマニチュード導入に対する本市の支援の考え方は。**

他都市の事例や国の認知症ケアに関する研究開発等を注視しながら研究していく。

**サッカー等スタジアム建設**

サッカー等スタジアム整備検討協議会から示されたウォーターフロント3カ所には、それぞれに交通問題、景観問題、災害問題、費用対効果の見通しなど課題が山

積しているが解決策はあるのか。

3カ所の候補地においては、渋滞等の交通問題、都市計画法上の規制などそれぞれに課題があり、今後、県をはじめ関係団体等との協議を行いながら、課題解決の方策について検討していきたい。

**観客席全体への屋根の整備義務等への対応は可能か。**

景観条例等による規制などクリアすべき課題も一部あることから、これらの課題解決に向けて各面から検討を行っていきたい。

**市全域のバランス良い発展と大量交通等を生かした利便性、多目的利用と新しいまちづくりなどの視点から、伸び代の大きい農業試験場跡地がクローズアップされている。候補地の一つとして検討することについての考え方は。**

サッカー等スタジアム立地に関する報告書では、3カ所の候補地について、地権者との協議が整わない場合は、あらかじめ他の候補地を検討することとされている。本市は、それぞれの課題等を整理し検討を行っており、それらを踏まえ選定に取り組んでいきたい。

**小学校における余裕教室の有効活用**

余裕教室の活用に関する考え方と進め方は。

鹿児島市立学校余裕教室活用計画指針に基づき、学校教育に支障がない限り、福祉施設や社会教育施設等への積極的な活用を進めることとしており、要望があった場合は、学校において、PTAや地域コミュニティ協議会の関係者等からなる余裕教室活用委員会を設置し、幅広い立場から意見をいただいている。

**桜島地域等の新しい魅力づくり**

現在進行中の計画や事業については、本市にとって集客力・回遊性の向上や新たな都市拠点の形成など、街なかのにぎわいの創出や魅力ある都市空間の形成につながるものと考えている。これらが完成することで、本市のまちの装いが大きく生まれ変わり、さらなる交流が生まれ、都市の活力の向上、ひいては、市民が真に、豊かさを実感できる都市の実現にも大きく寄与するものと考えている。

**問**

全国空き家アドバイザー協議会との連携等による桜島地域等の空き家や古民家、空き地の活用への見解は。

**答**

空き家等は、地域資源として有効活用を図ることが重要であることから、鹿児島市空き家等対策計画に基づき、引き続き関係課等と連携して取り組むとともに、同協議会とも状況に応じて連携していきたい。

**民主・無所属の会 ぶじた太一議員**

**市長が思い描く本市の将来像**

鹿児島市政の最高責任者として現状をどう分析、把握し、未来に向けた姿をどのように創造しているのか。

現在、本市においても本格的な人口減少局面を迎え、将来にわたって地域の活力を維持していくための取り組みがますます重要になってきていると考えている。今後においても、市民一人ひとりの鹿児島に寄せる愛情と未来へかける熱い思いや行動力を結集し、第五次総合計画の都市像である「一人・まち・みどり みんなで創る、豊かさ、実感都市・かごしま」の創造に全力を傾けていきたいと考えている。

鹿児島中央駅東口や千日町における再開発など、現在進行中の都市計画関連事業や今後予定している事業を、どのように連携しながら経済、観光、雇用対策を含む本市の振興につなげるのか。また、本市の将来像をどのように描いているのか。

現在進行中の計画や事業については、本市にとって集客力・回遊性の向上や新たな都市拠点の形成など、街なかのにぎわいの創出や魅力ある都市空間の形成につながるものと考えている。これらが完成することで、本市のまちの装いが大きく生まれ変わり、さらなる交流が生まれ、都市の活力の向上、ひいては、市民が真に、豊かさを実感できる都市の実現にも大きく寄与するものと考えている。



開発が進む鹿児島中央駅周辺の完成イメージ

**鹿児島地域内の新たな公共交通機関としてのバスの在り方**

市内の永吉団地、常安団地、葛山、森山団地などで運行されている民間事業者のバス6路線が、令和2年4月1日から廃止されることになったが、「あいばす」の運行または、近隣のバス路線との結合や編入により、交通弱者を救済する考えはないか。また、解決を急がなければならない課題であるが、認識と見解は。

バス路線廃止地域における「あいばす」の運行や路線新設については、運転者不足の状況や各社の経営状況等を踏まえると困難な面もあるのではないかと考えるが、今後の在り方については、それらの地域の状況把握に努めたいと考えている。

バス路線廃止地域における「あいばす」の運行や路線新設については、運転者不足の状況や各社の経営状況等を踏まえると困難な面もあるのではないかと考えるが、今後の在り方については、それらの地域の状況把握に努めたいと考えている。

議会の相違内容は。

同制度は、学校運営に関し、校長が必要に応じて保護者や地域の方々の意見を聞くことを目的としているのに対し、同協議会は、保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画し、その充実に取り組むことを目的としている。

**同協議会を設置することで、学校経営に過度な影響を及ぼさないものか。**

同協議会においては、学校運営の責任者である校長の基本方針を保護者や地域住民等と共有することなどで、教育活動等が充実していくものと考えている。

**教職員住宅の現状と有効活用**

教職員住宅の戸数と入居状況は。

教育委員会が所管する教職員住宅は75戸で、このうち入居している住宅が28戸、空き家が47戸である。

**空き家となっている教職員住宅の有効利用を図るべきと考えるが、これまでの対応も含め見解は。**

空き家の有効活用として、児童クラブに転用した事例がある。今後も、他部局から活用の相談があった場合、検討し対応する。

**自由民主党維新の会 中島蔵人議員**

**クルーズ船寄港時の桜島フェリーの活用**

マリンポートかごしまに寄港するクルーズ船の乗船客等を本港区や桜島に送迎するために、桜島フェリーの活用が不可欠と思わ

れるが見解は。

同フェリーは一度に多くのクルーズ船乗客が利用できることや、船上から間近に桜島を眺望できるなど、魅力的な移動手段であるとされている。2022年には大型クルーズ船の寄港も予定され、受け入れ体制を充実させる必要があることから、同フェリーを活用した二次交通対策についても検討していきたい。

**本庁舎案内ロボット活用検討事業**

ロボットに託す業務内容と設置予定場所、試験期間は。

ロボットは、音声または操作パネル等を利用して来庁者への案内を行うもので、別館1階と2階渡り廊下付近への設置を予定しており、試験的に設置する期間は、2週間から1カ月程度を想定している。

**他都市の導入状況と設置後の評価、課題は。**

他都市の状況については、岐阜県大垣市が、庁舎案内等を行うロボットの実証実験を踏まえ、令和2年1月から本格的に導入しているところであり、市民サービスの向上等が期待される一方、高齢者の利用促進が課題となっているようである。

**避難行動要支援者への対応策**

個別支援計画作成の取り組み状況は。

同計画の作成や名簿情報の提供については、民生委員や町内会等において周知等を行っている。

**避難行動要支援者への支援をさらに進めるために、同意を得なくても名簿情報を外部提供できる規定を設ける考えは。**

同意を得ずに名簿情報を提供することについては、要支援者へ

の支援は必要である一方で、現状において、同意されていない方が約28%いる中で、個人情報を一律に提供することにについては難しい面もあると考えているが、今後、他都市の状況を含め研究していきたい。

### 里親制度

**問** 里親を増やすための取り組みと本市の関わりは。

**答** 県によると、里親制度の啓発のため、県内各地で説明会を開催しているほか、里親登録した方を支援するため、児童養護施設等への里親支援専門相談員の設置や中央児童相談所に里親支援班を設置するなど、里親を増やす取り組みや里親委託の推進を図っていることである。本市の関わりとしては、県が主催する里親を希望する方などを対象とした説明会の開催にあたり、広報や会場確保等への協力を行っているところである。

### 「若き薩摩の群像」整備事業

**問** 2人のブロンズ像を追加するにあたり、これまで使用してきた「若き薩摩の群像」の改名を検討対象にしない理由は。

**答** 今回追加される2人を含めた19人は、それぞれの役目を帯びて薩摩から英国へ派遣されており、帰国後の薩摩への功績を考慮しても「若き薩摩の群像」という名称のまま問題ないと考えている。

**問** 「若き薩摩の群像」に対する市長の見解は。

**答** 今回の2人の像の追加建立については、時代や環境の変化を踏まえ、これまで制作者の中村晋也氏と意見交換を重ねる中で、同氏の思いも尊重しながら慎重に検討

してきた。

今回、「群像」に2人を追加することで、「芸術家中村晋也」の群像に対する理想形として県内外の子どもたちに鹿児島歴史を伝え、大交流新時代を迎える本市の未来に向けた発展につなげていきたいと思う。

### 自由民主党新政会

上門秀彦議員

**問** 路面電車観光路線の新設について、現在の思いと県への要請内容を今後の取り組みは。

**答** これまで、県に対しては鹿児島本港区エリアのまちづくりの施設整備と観光路線が一体的なものとして検討されるよう要請してきたところであり、令和元年12月に県が公表した事業者公募要項素案に観光路線について明記されたことなどから、元年度中に2回目の基本計画策定委員会を開催する予定としている。

今後、県や関係機関等と緊密に連携を図りながら、早期実現に向け全力で取り組んでいきたい。

### 3R推進事業

**問** 令和2年度における3R推進に向けた取り組み内容は。

**答** 分別説明会やごみ出しカレンダーの配布などのほか、新たにごみ分別アプリ「さんあーる」の多言語化の拡充を行う。

**問** 同アプリのダウンロード数は、また、多言語対応で追加する言語とその背景、言語別の想定人数は。

**答** 同アプリの2年1月末現在のダウンロード数は、2万4503件で、アジア諸国からの外国人へ

のごみ出しマナーの啓発を図るため、ベトナム語、ネパール語、中国語の繁体字を追加する。言語別の利用者は、英語約5000人、韓国語約2500人、中国語(簡体字)約9500人、ベトナム語約千人、ネパール語約1300人、中国語(繁体字)約70人を見込んでいく。

**問** コンビニ納付、モバイル決済サービス事業

**答** 新たに追加されるサービスは、市税等の納付書のバーコードをスマートフォンなどモバイル端末で読み込み、クレジットカードや電子マネーで決済するもので、今後は業者選定やシステム改修等の準備業務を行い、令和3年度から実施する予定である。

**問** どのような収納サービスが新たに追加されるのか。また、今後のスケジュールは。

**答** 愛護清掃は301公園で、181団体が実施している。特に長年にわたり、組織一体となって熱心に取り組んでいる2団体を選定した。今後の維持管理は、町内会等に可能な限り移行していくことが望ましいと考えており、モデル団体の数を増やしながらか3年間試行、検証を行い、地域団体主体によるパークマネジメント導入に向けた機運醸成につなげていきたい。

**問** 公園維持管理業務(地域コミュニティ公園管理)

**答** 愛護清掃を行っている公園数と団体数、モデル事業として2団体を選定した理由は、また、今後の公園維持管理の考えと本事業の展開は。

**問** 市営バス路線民間移譲と本市の交通政策

**答** 2年度予算では、バスが58両の減、走行距離が2億15万キロの減で、営業収支約2億3600万円の改善を見込んでいる。

### 日本共産党 大園たつや議員

**問** 市営バス路線民間移譲について、鹿児島交通のバス路線廃止・減便が報道されたことも合わせて、市民から強い懸念の声が寄せられている。令和2年度交通事業特別会計予算におけるバス路線民間移譲の影響について、バスの台数、走行距離、影響額は。

**答** 平成26年度から30年度までの5年間の企業立地件数は35件、操業開始から5年目までの計画従業員数は1865人、31年2月時

の現状とバス路線移譲の影響は。  
**答** 鹿児島交通の路線廃止等については、報道等によると、利用者の減少や乗務員不足が理由とのことであるが、市営バス路線移譲との関連については分からないところである。  
**問** 市営バス路線民間移譲についての市政出前トークの回数、参加人数、主な意見と当局の受け止めは。  
**答** 路線移譲に係る市政出前トークは、2年2月までに3回開催し、延べ99人が参加している。主な意見は「3年後も路線が維持されるのか心配である」「移譲決定後ではなく、事前に情報提供し市民と議論してほしい」「交通局の経営状況や路線移譲の理由についてよく分かった」「路線を維持するために、住民もしっかり利用していくべき」などがあり、路線移譲に係る関心の高さを実感するとともに、利用者への周知広報が大切であると認識した。  
**問** 明和地域の方々が交通局や民間バス事業者へ粘り強く訴えて実現した小型バスが廃止されることになり、突然の発表に地域住民の方々の危機感が高まっている。少なくとも現状を維持するために鹿児島交通への要請や臨時便等の緊急的な対応をすべきと考えるが見解は。  
**答** 交通局においても、路線移譲により事業規模の縮小を進めていることなどから、同社への要請等は難しいところである。

### 自由民主党 堀 純則議員

**問** 喜入いきいきふれあい広場の土地の無償貸し付け

**答** 喜入いきいきふれあい広場の土地の無償貸し付けに関するこれまでの経緯と本市の対応方針は。

**答** 鹿児島ユナイテッドFC専用のトレーニング施設候補地について、本市と情報交換を行う中で、令和元年11月にチームの運営会社側から当該市有地の無償貸し付けの要望があった。本市としては、同施設の整備により、スポーツ振興や交流人口の拡大、喜入地域の活性化など、「スポーツを生かしたまちづくり」に寄与することが期待されることから、無償貸し付けを行うこととした。

**問** 地域住民等の利用と交流は。  
**答** 練習等に使用しないときには、可能な限り地域住民等に開放することや、サッカー教室やイベント等の開催で交流を図ることなどを考えていることである。  
**問** 合併記念モニユメントの移設の考えは。  
**答** 同広場にあるモニユメントについては、施設整備に合わせ、同広場内で移設したいとされている。

**問** 今後のスケジュールは。  
**答** 議案の議決後に土地の無償貸し付けの契約をチーム側と締結することとしており、その後、同施設の整備に着手され、順調にいくと3年2月に完成する見込みとなっている。  
**問** 波及効果は。  
**答** 見学者等による喜入地域の交流人口の拡大に加え、地域住民との交流の場の創出などにより、地域の活性化につながると考えている。

**問** 今後のスケジュールは。  
**答** 議案の議決後に土地の無償貸し付けの契約をチーム側と締結することとしており、その後、同施設の整備に着手され、順調にいくと3年2月に完成する見込みとなっている。



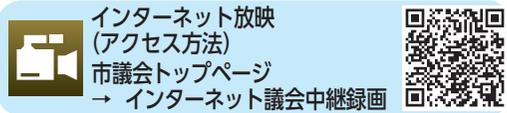
J2復帰を目指す鹿児島ユナイテッドFC

# 個人質疑から

第1回定例会では令和元年度関係の議案について2人、2年度関係の議案等について8人の議員が個人質疑を行いました。その中から一部を紹介します。

質疑者は次のとおりです。

- のぐち英一郎議員(無所属) 崎元ひろのり議員(公明党) ふじくぼ博文議員(社民・市民フォーラム)
- 園山えり議員(日本共産党) 片平孝市議員(民主・無所属の会) 佐藤高広議員(自由民主党新政会)
- たてやま清隆議員(日本共産党) 小川みさ子議員(無所属) (掲載記事は質疑順ではありません。)



## 令和元年度関係議案について

### 光ブロードバンド整備促進事業

**問** 令和元年度の光ブロードバンド整備促進事業について、北部地区(犬迫・小山田・皆与志)、(東俣・川田・花尾)と桜島・南部地区(桜島全域)のデジタルデバイスはいつまでに解消する見込みか。また、減額補正に伴うマイナスの影響は全くないか。

**答** 同事業の完了時期と、完了後の通信環境における地域間格差の有無は、

**問** 同事業については、元年度の整備が2年3月末までに終了し、北部地区は同年4月から、桜島地区は同年6月から順次利用が可能になるとのことである。

**答** また、今回の補正予算は事業費の決定見込みによるものであることからマイナスの影響はない。同事業の完了は、3年3月末を予定しており、この整備で世帯のカバー率は99%以上になる見込みで、全ての地域をカバーすることから、通信環境の地域間格差はなくなるものと考えている。

### ICT環境整備事業

**問** 今回の補正予算に計上しているICT環境整備事業の概要は、

**答** 同事業は、国のGIGAスクール構想に基づき、高速大容量の通信ネットワークと児童生徒1人1台の端末の整備を行うもので、令和2年度は、全小・中学校の通信ネットワークと、元年5月1日現在の小学校5・6年、中学校1

年の児童生徒数の3分の2にあたる1万1014台の端末の整備を行うこととしている。情報化やグローバル化などが急速に進展する未来を生きる子どもたちにとって、情報活用能力は重要な資質・能力の一つであることから、ICT環境を活用した教育活動の充実も必要であると考えている。

### 解説 GIGAスクール構想

文部科学省が提唱する構想で、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるために、令和5年度までに、高速大容量の通信ネットワークの整備と1人1台の端末整備を一体的に行うもの。



プログラミングの授業の様子

### 令和2年度関係議案等について

#### 災害対応の教訓と今後の取り組み

**問** 令和元年6月末からの大雨における災害対応への教訓と、防災リーフレットの改善やハザードマップに関する新規事業など、今後の取り組みは。

**答** 元年6月末からの大雨では、和田川の溢水による指定緊急避難場所の閉鎖や、一部の避難場所に避難者が集中するなどの課題が生じたことから、避難情報発令の地

域・対象者や洪水浸水、土砂災害等の恐れがある指定緊急避難場所の見直しを行ったところである。その周知等を図るため、見直し後の避難場所一覧や、避難行動のポイント等を掲載した防災リーフレットを作成し、かごしま市民のひろば令和2年6月号と併せて全世帯に配布する予定としており、災害時における迅速かつ適切な市民の避難行動につながるものと考えている。

**問** また、洪水浸水想定区域を想定最大規模としたハザードマップを全ての避難場所に掲出するとともに、市ホームページにも掲載することとしている。



新たに避難所指定された武町公民館

#### コミュニティタイムライン

**問** コミュニティタイムラインの概要と田上校区の町内会が実施した避難訓練に参加した感想は。また、全的に広報・啓発すべきと考えるが見解は。

**答** コミュニティタイムラインは、災害の発生を前提に「いつ」「誰が」「何をするか」といった防災行動を、自主防災組織や町内会等のコミュニティ単位であらかじめ検討し、時系列で整理したものである。

同訓練は、大雨により「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されたという想定で、事態の進行に

合わせて町内会における役割に応じた情報連絡体制の確認や要支援者の避難支援等が実施されており、地域防災力の向上につながる有効な取り組みであると感じたところである。今後、地区別防災研修会や出前トーク等において、地域における防災活動の参考事例として紹介していきたい。

#### 動物の愛護及び管理に関する条例制定と動物管理事務所の取り組み

**問** 市動物の愛護及び管理に関する条例において、飼養者に求める新たな手続きと狙いは。また、動物管理事務所における取り組みの評価と課題は。さらに、令和2年度の同事務所整備事業の概要と期待される効果は。

**答** 本市では、所有する猫の多頭飼養の崩壊現象がしばしば発生しており、届け出を義務付けることで早期に多頭飼養者を把握でき、適正な頭数を飼養するよう促す効果が期待できることから、同条例において、10頭以上の猫を飼養する者に届け出をするよう定めるところである。

同事務所における取り組みにより、犬は里親への譲渡が進み、殺処分ゼロが目前となっているが、猫は殺処分がまだに500頭を超えており、殺処分頭数を減らすことが今後の課題であると考えて



市が実施する動物愛護啓発イベント

2年度に実施予定の同事業は、収容可能頭数を超え、やむを得ず殺処分する猫を減らすため、同事務所隣接地に猫の収容施設を増設するもので、増設により十分なスペースを確保できるとともに、伝染性の病原体を保有する状態の悪い猫を隔離して管理できることから、収容後の集団感染により病死する猫の減少にもつながるものと考えている。

#### 新型コロナウイルス感染症

**問** 新型コロナウイルス感染症の有無を調べるPCR検査に対する本市の対応は。

**答** また、同検査を希望する市民から相談があった場合、どのように案内すればよいか。

**問** 本市における同感染症の行政検査については、国の通知等に基づき適切に対応しているところである。

**答** 現在、保健予防課、各保健センター、各保健福祉課の11カ所に設置している「帰国者・接触者相談センター」において、同感染症の疑いがある場合は、「帰国者・接触者外来」を設置している医療機関で確実に受診していただけるよう調整している。

なお、同感染症の疑いに該当しない場合は、一般の医療機関を案内している。

#### 3つの密を避けよう!!

新型コロナウイルスの集団発生を防止するために、日頃の生活の中で3つの密が重ならないよう心がけましょう。

- ① 換気の悪い密閉空間
- ② 多数が集まる密集場所
- ③ 間近で会話や発声をする密接場面

### 保育所等での園外活動の安全対策

**問** 大津市の園外活動中の痛ましい事故を受け、国から提起された令和元年度の緊急安全点検の結果と危険箇所が解消された事例は。また、園外活動や安全対策の実態把握の状況と、新たに判明した危険箇所への対応は。

**答** 同点検は、未就学児が日常的に集団で移動する経路について保育所等が点検を行ったもので、点検の結果、抽出された4カ所は、歩道と車道の区別がないなどの課題があったところである。そのうち1カ所については、保育所が警察や道路管理者と点検を行った結果、路面標示による注意喚起の対策を行うこととされている。園外活動や安全対策の実態については、指導監督により把握しており、同点検後に新たに判明した危険箇所についても施設や関係機関等と連携を図りながら、その状況を確認し適切に対応していきたいと考えている。



点検後に路面標示された市道

### 5カ所の地域子育て支援センターの存続

**問** 地域子育て支援センター再配置に関連していることとれる令和2年度の地域子育て支援の事業の策定にあたり、子育て真っ最中の

方々を含めた関係者へのヒアリングはどのように行ったか。また、3年度に事業の効果検証をするようになると思うが、その検証が完了するまでは、同センター5カ所は廃止できないと考えるが見解は。

**答** 2年度の新規・拡充事業については、利用者との意見交換会における意見等を踏まえ、より身近な場所での寄り添った支援の在り方や、地域の子育て支援グループへの支援の充実などの課題を整理し、実施することとしたものである。

同センターの再配置については、これらの事業効果を検証しながら、地域における子育て支援体制の在り方について、検討することとしている。

### 鶴丸城御楼門復元完成と歴史観光への活用

**問** 鶴丸城御楼門復元完成に対する市長の思いは。また、国の合同庁舎の建て替えに伴う展望整備の進捗状況と新たな観光回遊コースの新設の考えは。

**答** 御楼門については、これまで地元経済団体など民間を中心に復元への提言から募金活動、設計、工事などに取り組みされてきたところであり、このたび、完成の運びとなることは、大変喜ばしく思うと同時に感慨深いものがある。日本最大級の武家門となる御楼門は、鹿児島県の新しいシンボルとして、西郷隆盛銅像などの歴史的観光資源や市立美術館などの文化施設と相まって、この歴史・文化ゾーン一帯の魅力を高め、回遊性の向上、さらには、地域活性化にもつながるものと考えている。

合同庁舎敷地内に整備予定の展望所は、御楼門に合わせ、令和2年3月完成に向け工事が進められ

ている。また、同年4月から鹿児島ぶらりまち歩き歴史・文化ゾーンを巡るコースに御楼門を新たに追加することとしている。



開門の瞬間を見守る様子

### 武之橋から天保山橋までの甲突川右岸緑地遊歩道整備

**問** 武之橋から天保山橋までの甲突川右岸緑地の現状認識と、遊歩道利用者や公園利用者とのエリアの線引きの必要性は。また、連続性が確保できている区間を含めたつながる遊歩道整備についての考えは。

**答** 同緑地においては、一部で園路の連続性が確保できていない区間があり、公園内において使用目的の異なる利用者が混在する場合は、利用者の安全確保等に配慮する必要があると考えている。園路をつなげることについては、利用者の安全性や回遊性の向上の観点から、整備に向けた検討を行いたいと考えている。



甲突川右岸緑地の現状

## 令和2年度主な新規事業

#### ○ 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

- ・新島観光施設整備事業
- ・国際交流センター管理運営事業
- ・かごんま女子旅促進事業



予防接種の様子

#### ○ 健やかに暮らせる安全で安心なまち

- ・おたふくかぜ予防接種事業
- ・防災ラジオ導入事業
- ・ベンチあふれるまちづくり事業



防災ラジオ

#### ○ 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

- ・ゼロカーボンシティかごしまPR事業
- ・剪定枝資源化事業

#### ○ 地域産業で若者や女性が活躍できるまち

- ・移住・就業等支援事業
- ・次世代農業担い手サポート事業

#### ○ 学ぶよこびが広がる誇りあるまち

- ・学校運営協議会設置事業
- ・パークゴルフ場関連整備事業



パークゴルフ場完成イメージ

#### ○ 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

- ・「若き薩摩の群像」整備事業
- ・公共下水道基本構想・全体計画策定事業

#### ○ 市民と行政が拓く協働と連携のまち

- ・さくらじま地域おこし協力隊活動事業
- ・コンビニ納付、モバイル決済サービス事業



「若き薩摩の群像」

## 請願と陳情

市政に対する市民の要望や希望を直接反映させるための方法として、だれでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。本市議会では本市の議員の紹介があるものを「請願」、議員の紹介がないものを「陳情」として取り扱っています。

- ・請願の場合は、すべて委員会に付託し、会期中(定例会の期間中)または閉会中(定例会終了後から次の定例会が始まるまでの間)に審査します。
- ・陳情の場合は、委員会に付託するものと全議員に参考送付するもの(陳情内容が国等へ意見書提出を求めるものや委員会付託になじまないと判断されるものなど)がありますが、付託されますと、原則として閉会中の委員会において審査します。

## 会議録の閲覧・貸し出し

会議録は、下記の公共施設で閲覧できるほか、一部の施設では貸し出しを行っています。

### 【閲覧・貸し出しの両方】

市立図書館、県立図書館、地域公民館、勤労女性センター、勤労青少年ホーム、サンエールかごしま

### 【閲覧のみ】

市議会図書室、市政情報コーナー、市民相談センター、各支所(東桜島合同庁舎含む)、地域福祉館、高齢者福祉センター、知的障害者福祉センター、福祉コミュニティセンター、勤労者交流センター、校区公民館

### 【会議録検索システム】

市議会ホームページにある「会議録検索システム」で平成6年以降の会議録を開催年、ことば、発言者名などで検索・閲覧できます。

また、31年4月1日から、スマートフォンに対応した機能を追加しました。

### <アクセス方法>

市議会トップページ→「市議会会議録検索システム」



# 委員会から

## 市役所における障害者雇用の推進と障害のある職員への支援体制

**問** 人事課に支援調整係を新設し、会計年度任用職員として事務補助に当たる障害者3人と障害者支援相談員1人を採用するに至った背景は。

**答** また、同相談員の任用条件等は、障害者の雇用は、国と各地方公共団体等において、法定雇用率の達成に向け積極的な取り組みが行われており、今回、さらなる取り組みを推進することとした。

**問** 事務補助に当たる障害者の公募状況は。また、任用後の業務内容は。

**答** 公募に対して17人の応募があり、面接等による選考の結果、身体、精神および知的障害者をそれぞれ1人ずつ任用する予定である。

**問** 介護保険特別会計予算

**問** 本市の介護事業所における介護職員の充足状況および処遇改善加算の取得状況は。

**答** 介護事業所の場合、常勤加算の職員数が基準を満たしていれば

問題がない取り扱いとなっていることから、介護職員の現状について調査は行っていない。なお、公益財団法人介護労働安定センターが平成30年度に実施した全国の介護労働実態調査では、67・2%の事業所が職員の不足感があると回答しており、また、77・3%の事業所が処遇改善加算を取得し、賃金は年々増加傾向にあるとされているが、調査結果によると、仕事内容の割に賃金が低い、有給休暇が取得しづらい等の回答が多い状況にあるということだった。

**問** 介護職員が不足している状況を打開するためには、職員の処遇改善が不可欠であることから、本市の現状を把握し、国に対し、必要な対策を求めていく必要があるのではないか。

**答** 同職員の処遇改善は喫緊の課題であり、国を説得し、施策の実施へとなげっていくためには、介護事業所等の現場の実情を訴えることも重要であることから、まずは、それらを把握するための方策について、検討してみたいと考えている。

**問** 新たな鹿児島市交通事業経営計画と経営安定化補助金

**問** 交通事業特別会計の一般会計からの繰入金のうち、今回、初めて計上された経営安定化補助金を新たな経営計画の初年度となる令和2年度に繰り入れる理由と、繰り入れを行わなかった場合の経営面への影響は。

**答** 同計画では、計画最終年度となる8年度に交通事業全体で収支均衡が図られる見込みであるが、2年度から3年度にかけては、バス路線の移譲が予定されているものの、移譲に伴う車両売却や乗務員の異動等に一定期間を要するなど計画初期段階の資金面に懸念があったことから、今回、3億円の繰り入れを受けることになった。

また、繰り入れを行わなかった場合は、4年度の資金不足比率が経営健全化基準の20%を超える22・8%となり、経営健全化団体の指定を受けることになる。

**問** 同計画の財政見直しでは、一般会計から総額8億円の財政支援が示されているが、繰入金は市民の負担となること、公営企業として独立採算を基本とすることを踏まえ、8億円ありきではなく、同計画の増収対策に取り組み、経営基盤を強化することで可能な限りその額を減らす努力をすべきでは。

**答** 交通局としては、経済性を最大限に発揮し、事業効果を上げながら事業を継続することが最大の目標であり、その達成に向け、同計画に掲げた各種施策に全力で取り組んでいきたいと考えている。

**問** がけ地応急防災工事費補助事業は、崖に接している土地所有者など自らが行う応急防災工事に要する費用に対し新たに助成を行うものであるが、事業化に至った背景は。また、本事業による助成は、個人の財産形成に資するものと考えられるが見解は。

**答** 同事業は、平成30年7月に、桜島の古里地区において大雨による崖崩れが発生し、人的被害が発生したことが発端で、自分の命は自分で守るといった市民意識を高めるための一手法として事業化したものである。また、応急的な工事に對して助成するもので恒久的な工事は対象外としていることから、個人の財産形成には当たらないものと考えている。

**問** 補助要件の一つに「崖の角度が30度以上、高さが5m以上」とあるが、この要件に合致しない箇所でも、可能な限り柔軟な対応が必要ではないか。

**答** 補助要件は、本市の急傾斜地

崩壊対策事業の採択基準を準用したところであり、これまでの災害データにおいて、崖高5m以下の場合、人や人命に影響が及ぶ例が少ないことに加え、令和元年6月末からの大雨による崖崩れ箇所を優先的に対応するといったことも考慮したところである。

**問** ゼロカーボンシティ

**問** 2050年までに本市の二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティがごしまの実現に向けては、市民や事業者等の協力が不可欠であり、そのためには、本市の事業を体系化した上で、その効果を見える化し、市民に周知広報していくことが必要であると考えるが見解は。

**答** ゼロカーボンシティがごしまの実現については、行政のみならず、市民や事業者等による取り組みの積み重ねが非常に重要であると考える。

現在、本市においては、さまざまな事業に取り組んでいるが、その効果が市民等に十分に伝わっていないため、市民等が本腰を入れて取り組む行動につながっていない面もあることから、ゼロカーボンシティがごしまPR事業やクルチョイス推進事業などを実施する中で、温暖化対策につながる具体的な事例や、取り組みによる効果をきちんと可視化し、市民等に分かりやすくPRしていきたいと考えている。



天文館ゆかた祭りでのクールチョイス普及啓発

### 常任委員会の名称等がわかりました!

令和2年第1回定例会において、鹿児島市議会委員会条例が一部改正されました。鹿児島市の組織に「こども未来局」が新設されたことや、議員定数の見直しなどに伴い、市議会の常任委員会の名称や委員の定数、所管と議会運営委員会の委員の定数がわかりました。各委員会の名称、所管等は次のとおりです。

#### ○常任委員会

##### ・総務環境委員会 (9人)

総務局、企画財政局、環境局、会計管理室、選挙管理委員会、監査委員および公平委員会の所管に属する事項ならびに他の委員会の所管に属しない事項

##### ・防災福祉こども委員会 (9人)

危機管理局、健康福祉局及およびこども未来局の所管に属する事項

##### ・市民文教委員会 (9人)

市民局および教育委員会の所管に属する事項

##### ・産業観光企業委員会 (9人)

産業局、観光交流局、農業委員会、市立病院、交通局、水道局及および船舶局の所管に属する事項

##### ・建設消防委員会 (9人)

建設局および消防局の所管に属する事項

#### ○議会運営委員会 (11人)

### 市議会だよりの点字版・音声版

目の不自由な方々に市議会の活動を知っていただくために、市議会だよりの点字版・音声版(テープ・CD)を作成しています。配布をご希望の方は、下記までご連絡ください。



### 本会議の中継

#### 【本庁・各支所におけるモニター中継】

本会議の様子は、本庁や各支所(東桜島合同庁舎含む)のロビーなどでご覧いただけます。

#### 【インターネットによる中継・録画放映】

パソコンやスマートフォン、タブレット端末で本会議をリアルタイムで視聴できるほか、平成20年第2回定例会以降の本会議の様態もご覧いただけます。

<アクセス方法> 市議会トップページ→「インターネット議会議中継録画」



議案等に対する各会派等の表決態度

○賛成 ×反対 ※賛成・反対双方あり

	件 名	自由民主党新国会	公明党	社民市民フォーラム	民主・無所属の会	自民みらい	自由民主党維新の会	自由民主党	日本共産党	黎明の会	無所属A	無所属B	無所属C	結果	
議	【令和元年度関係】														
	▼令和元年度鹿児島市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×		
	▼鹿児島市災害弔慰金の支給等に関する条例一部改正の件														
	▼鹿児島市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例一部改正の件														
	▼損害賠償の額の決定及び和解に関する件〔慈眼寺公園駐車場内における樹木の管理不全による自動車損傷事故〕														
	▼市道の認定及び廃止の件														
	▼住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	▼鹿児島市手数料条例一部改正の件														
	▼令和元年度鹿児島市特別会計・企業会計補正予算関係〔9件〕														
	〔中央卸売市場特別会計(第2号)・国民健康保険事業特別会計(第2号)・介護保険特別会計(第1号)・後期高齢者医療特別会計(第1号)・病院事業特別会計(第2号)・交通事業特別会計(第3号)・水道事業特別会計(第2号)・公共下水道事業特別会計(第2号)・船舶事業特別会計(第2号)〕														
▼審査請求に関する諮問の件〔下水道使用料の徴収に関する処分の取消しを求める審査請求〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議のない旨答申	
案	【令和2年度関係】														
	▼令和2年度鹿児島市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×		
	▼令和2年度鹿児島市後期高齢者医療特別会計予算														
	▼令和2年度鹿児島市交通事業特別会計予算														
	▼鹿児島市立いしき園設置条例廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○		
	▼令和2年度鹿児島市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×		
	▼鹿児島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		
	▼令和2年度鹿児島市地域下水道事業特別会計予算														
	▼財産の無償貸付けの件〔旧改新小学校の教室棟及び教員住宅〕														
	▼鹿児島市動物の愛護及び管理に関する条例制定の件														
▼鹿児島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件															
▼鹿児島市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件															
▼鹿児島市幼保連携型認定こども園の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件															
▼土地の無償貸付けの件〔喜入町の土地〕															
▼地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件															
▼鹿児島市中央卸売市場業務条例一部改正の件															
▼鹿児島市立病院職員定数条例一部改正の件															
▼鹿児島市交通局職員定数条例一部改正の件															
▼鹿児島市水道局職員定数条例一部改正の件															
▼鹿児島市船舶局職員定数条例一部改正の件															
▼鹿児島都市計画事業吉野地区土地区画整理事業施行条例等一部改正の件															
▼鹿児島市浄化槽保守点検業者の登録に関する条例一部改正の件															
▼職員の配偶者同行休業に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
▼職員のサービスの宣誓に関する条例一部改正の件															
▼議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例一部改正の件															
▼鹿児島市事務分掌条例一部改正の件															
▼鹿児島市職員定数条例一部改正の件															
▼職員の育児休業等に関する条例一部改正の件															
▼鹿児島市報酬及び費用弁償条例一部改正の件															
▼包括外部監査契約締結の件															
▼鹿児島市監査委員条例一部改正の件															
▼令和2年度鹿児島市特別会計・企業会計予算〔10件〕															
〔土地区画整理事業清算特別会計・中央卸売市場特別会計・桜島観光施設特別会計・国民健康保険事業特別会計・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計・病院事業特別会計・水道事業特別会計・工業用水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計・船舶事業特別会計〕															
▼鹿児島市議会委員会条例一部改正の件															
▼人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
決議案	▼一方的に特定会派を誹謗中傷し、敵対心を煽り、公正中立を逸脱した森山きよみ副議長の不信任決議の件	×	×	×	×	○	×	×	×	※	×	×	×	否決	
陳情	▼町内会等が所有・管理する「防犯灯」の損害賠償責任保険に公費で加入することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	

会派名等	議員数	所 属 議 員 名				会派名等	議員数	所 属 議 員 名			
自由民主党 新 政 会	13人	中元かつあき	霜 出 佳 寿	佐 藤 高 広	瀬戸山つよし	自 民 み ら い	4人	徳利こうじ	藺 田 裕 之	井 上 剛	田 中 良 一
		杉尾ひろき	わきた高德	奥山よしじろう	川 越 桂 路	自 由 民 主 党 維 新 の 会	4人	柿 元 一 雄	志 摩 れ い 子	中 島 蔵 人	幾 村 清 徳
		山口たけし	仮 屋 秀 一	小 森 こう ぶ ん	上 門 秀 彦	自 由 民 主 党	3人	堀 純 則	古 江 尚 子	入 船 攻 一	
公 明 党	6人	しらが郁代	松 尾 ま こ と	上 田 ゆ う い ち	長 浜 昌 三	日 本 共 産 党	3人	園 山 え り	た て や ま 清 隆	大 園 た つ や	
		小森のぶたか	崎 元 ひ ろ の り								
社 民 ・ 市 民 フ ォ ー ラ ム	6人	平山タカヒサ	中 原 ち か ら	大 森 忍	ふ じ く ぼ 博 文	黎 明 の 会	2人	大 園 盛 仁	平 山 哲		
		森山きよみ	秋 広 正 健								
民 主 ・ 無 所 属 の 会	5人	米山たいすけ	伊 地 知 紘 徳	三 反 園 輝 男	ふ じ た 太 一	無 所 属 A	1人	平 山 た か し			
		片 平 孝 市				無 所 属 B	1人	小 川 み さ 子			
						無 所 属 C	1人	の ぐ ち 英 一 郎			

☆上記会派名等、議員数および所属議員名は、令和2年第1回定例会時点におけるものです。  
☆うえだ勇作議員(自民みらい)は令和2年1月31日をもって議員を辞職されました。

